



特別勘定（世界バランス型30AF）

四半期運用実績レポート

2010年10月～2010年12月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。母体であるステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2010年10月～2010年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2010年10月～2010年12月]

【日本株式市場】

国内株式市場は、円高進行を受けて下落する局面もあったものの、日米の金融緩和策や景気回復期待を背景に上昇しました。

10月は、日銀が実質ゼロ金利政策や金融資産の買い入れなど、市場の想定を上回る金融緩和策を発表したことを受けて大きく上昇しましたが、円高が進行すると下落基調に転じました。11月に入ると、3日の米連邦準備理事会(FRB)による追加金融緩和策発表をきっかけに急反発しました。その後も予想を上回る米経済指標が続き、米景気回復への期待が高まったことから堅調に推移しました。さらに対米ドルで円安が進んだことも追い風となり、12月も株式市場は上昇基調が続きました。期末にかけては、欧州財政問題を背景に円高となり、大納会は反落して終えました。

業種別では、株式市況の改善が好感された「証券、商品先物取引業」(前四半期比+23.30%)が最も上昇した一方、通期業績予想の下方修正があった日本水産の下落などで「水産・農林業」(前四半期比▲2.80%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

海外株式市場は、米国の量的緩和や好調な企業業績、堅調なマクロ指標などを材料に上昇しましたが、欧州の信用不安拡大や中国やブラジルなどの新興諸国での金融引き締めなどを受けて一時的に下落する場面も見られました。

米国株式市場は、FRBによる追加の金融緩和策期待や、ドル安による商品価格の上昇、事前予想を上回る企業業績が発表されたことなどを好感して上昇基調を維持する一方で、11月は欧州の信用不安が拡大したことや中国が金融引き締めを転じたことなどを嫌気して下落しました。終盤には堅調なマクロ経済指標の発表やプッシュ減税措置への延長期待を受けて再び上昇基調を強めました。

欧州株式市場は、アイルランドなどの信用不安が株価の上値を重くするものの、米国の量的緩和期待やドル安を受けての商品価格上昇によって上昇しました。中盤は財政懸念問題がポルトガルなど他の欧州諸国に波及したことなどで下落に転じたものの、終盤は米国で事前予想を上回る経済指標が発表されたことで、上値は重いものの再び上昇しました。

アジア市場は、米国をはじめ世界的な金融緩和に伴う流動性供給への期待感から上昇して始まり、原材料価格の上昇を背景に素材セクターなどが堅調な動きとなりました。しかし、中国の金融引き締めや北朝鮮の韓国への砲撃による地政学的リスクの高まりなどから、中盤以降、株価の上昇トレンドは相対的に弱いものとなりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10月上旬に日銀が追加緩和策を発表し政策金利の幅を0%～0.10%のレンジへと引き下げ4年ぶりとなるゼロ金利政策に踏み出したことを受けて債券が一時的に大きく買い込まれましたが、その後は、低値で推移する利回りの水準感から積極的な買いが手控えられる中で、7-9月期実質GDP成長率が事前予想を上回る上昇となるなど堅調な経済指標が発表されると債券が売られる展開となりました。日本の10年国債利回りは前期末から+0.188%上昇の1.128%となりました。無担保コール翌日物は前期末から▲0.034%低下の0.079%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、11月上旬のFRBによる追加緩和策としての6,000億ドルの米国債購入決定が債券の買い材料となりましたが、四半期を通じて上昇となった小売売上高の上昇など堅調な経済指標が相次いだことに加え、オバマ大統領が大型減税延長に合意したことから、米国経済に対する過度に悲観的な見方が後退し、債券利回りが上昇する展開となりました。米国10年債利回りは前期末から+0.784%上昇の3.294%となりました。

欧州市場は、域内周辺国に対する財政懸念が高まる中で相対的に安全と見られる独国内債が選好されましたが、その後、堅調な独国内経済指標を受けて独国内債が売られる展開となりました。英国市場は、第3四半期GDP成長率の上昇や10月、11月小売売上高の上昇など堅調な経済指標が相次いだことから債券が売られました。独10年国債利回りは前期末から+0.685%上昇の2.963%、英10年国債利回りは+0.446%上昇の3.396%となりました。

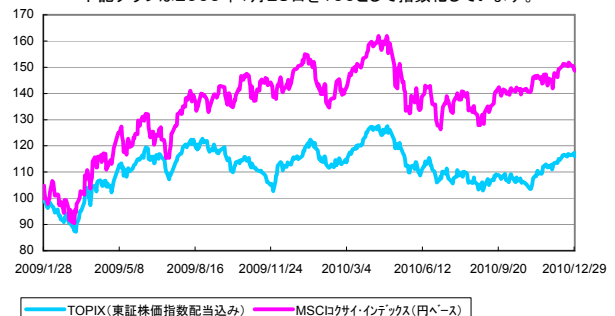
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、期前半は、米国の追加緩和と観測の高まりから米金利低下期待が高まり、米ドルが対主要通貨で売られる展開となり、期中には円が対米ドルで一時的に15年ぶりとなる1ドル80円台前半の円高水準をつけました。その後は、堅調な米経済指標が米ドルの買い材料となりました。円は対米ドルで前期末から2円33銭(2.78%)円高ドル安の1ドル=81円49銭となりました。

ユーロ/円相場は、期前半は、米国の追加緩和と観測が高まる中で金利差拡大期待を背景にユーロが対米ドルで底堅く推移しましたが、期中以降、欧州周辺国の財政状況や金融システムに対する懸念の高まりや、これを背景とした格付け会社による欧州国内の国債格付け引き下げが相次いだことから、ユーロが対主要通貨で軟調となりました。円は対ユーロで前期末から6円34銭(5.55%)円高ユーロ安の1ユーロ=107円90銭となりました。

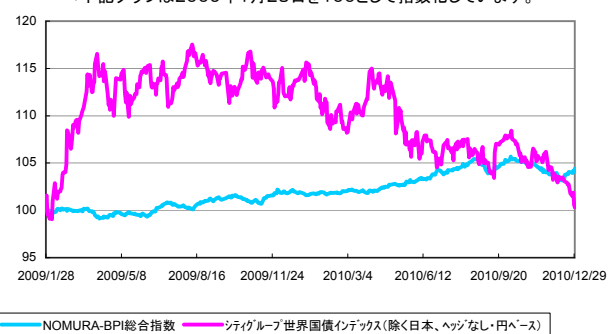
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



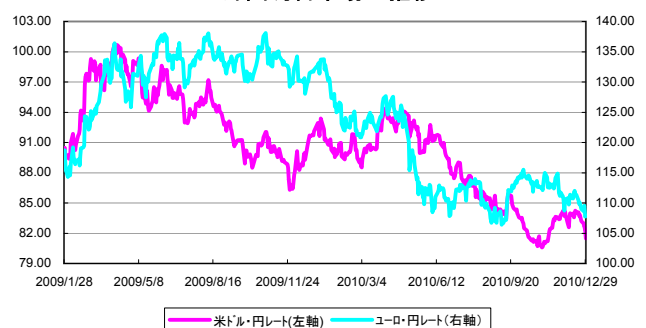
日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



出所: ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)
出所: ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

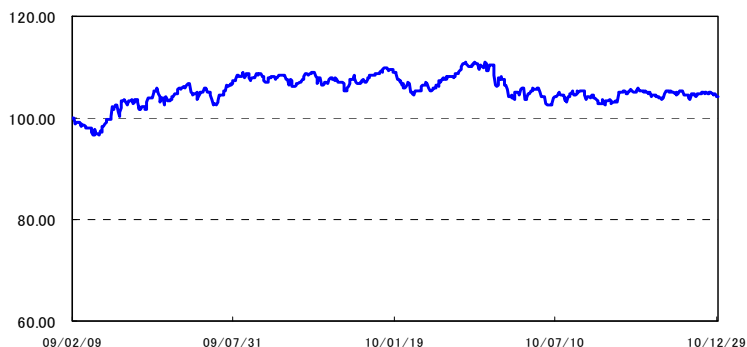
変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2010年10月～2010年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2010年12月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界バランス型30AF	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、内外の株式・公社債への分散投資を図り、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ● 基本配分比率は原則として以下の通りとします。 日本株式10% (運用の指標: TOPIX(東証株価指数配当込み))、 日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、 外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ・インデックス(円ベース))、 外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)) * * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の15% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。 ● 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA2 <適格機関投資家限定>	

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年2月9日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率(%)	
2010年12月末	104.09	過去1ヶ月	0.02%
2010年11月末	104.06	過去3ヶ月	▲1.20%
2010年10月末	103.88	過去6ヶ月	1.27%
2010年9月末	105.36	過去1年	▲4.19%
2010年8月末	102.70	過去3年	—
2010年7月末	104.58	設定来	4.09%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	世界バランス型30AF	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	693,833	99.0%
現預金・その他	6,686	1.0%
合計	700,520	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型

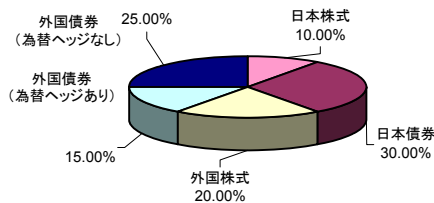
特別勘定の四半期運用実績レポート (2010年10月～2010年12月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の運用状況 [2010年12月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

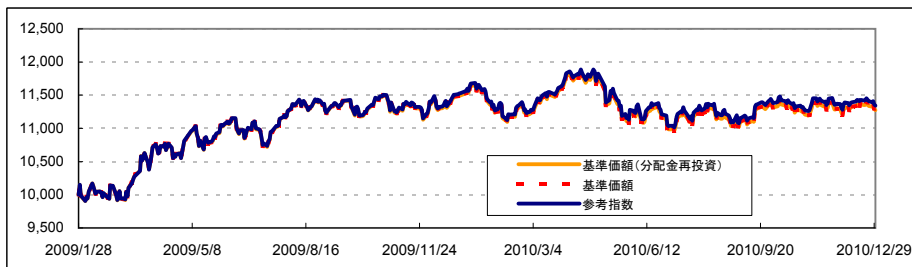
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の15%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の設定日(2009年1月28日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.315%程度(税抜0.30%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)25%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2010年12月30日	前月末	前月末比
基準価額	11,274 円	11,249 円	25 円
純資産総額(百万円)	694	694	▲0

	基準価額	日付
設定来高値	11,842 円	2010年4月15日
設定来安値	9,905 円	2009年2月3日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	10.69%
日本債券	30.00%	30.04%
外国株式	20.00%	20.94%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	14.40%
外国債券(為替ヘッジなし)	25.00%	23.48%
短期金融資産	0.00%	0.44%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.22%	▲0.63%	2.47%	▲1.96%	-	12.73%
参考指数	0.18%	▲0.59%	2.63%	▲1.62%	-	13.42%
差	0.04%	▲0.05%	▲0.16%	▲0.34%	-	▲0.69%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	40.74%
アメリカ	26.45%
イギリス	5.17%
フランス	4.55%
ドイツ	4.49%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	55.13%
米ドル	20.41%
ユーロ	12.79%
ポンド	4.03%
加ドル	1.88%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート (2010年10月～2010年12月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

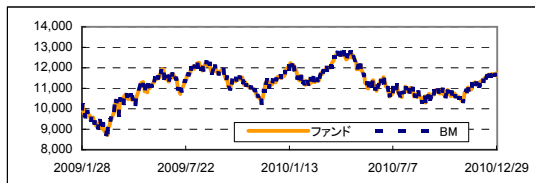
各マザーファンドの運用状況 [2010年12末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : TOPIX (東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 119,824 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.52%	8.48%	7.81%	1.01%	-	16.09%
ベンチマーク	4.50%	8.46%	7.82%	0.96%	-	16.07%
差	0.02%	0.02%	▲0.02%	0.05%	-	0.02%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,658 銘柄

	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.40%	3.45%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.70%	2.73%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.23%	2.26%
4	キヤノン	電気機器	2.15%	2.18%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.78%	1.80%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.51%	1.54%
7	三菱商事	卸売業	1.43%	1.45%
8	ソニー	電気機器	1.35%	1.37%
9	武田薬品工業	医薬品	1.29%	1.31%
10	東京電力	電気・ガス業	1.20%	1.22%
合計			19.04%	19.29%

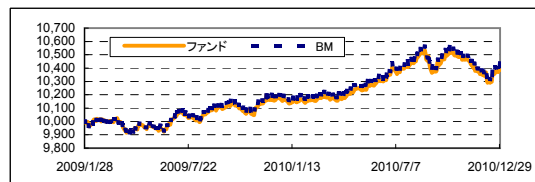
組入上位10業種

	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	14.78%	15.16%	▲0.38%
2	輸送用機器	9.78%	9.90%	▲0.12%
3	銀行業	9.43%	9.56%	▲0.13%
4	化学	5.85%	5.91%	▲0.07%
5	情報・通信業	5.38%	5.44%	▲0.06%
6	卸売業	5.25%	5.30%	▲0.05%
7	機械	4.91%	4.97%	▲0.06%
8	電気・ガス業	4.66%	4.72%	▲0.06%
9	医薬品	4.08%	4.14%	▲0.06%
10	小売業	3.49%	3.55%	▲0.06%
合計		67.61%	68.66%	▲1.05%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 185,856 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.61%	▲0.82%	0.26%	2.43%	-	4.14%
ベンチマーク	0.62%	▲0.81%	0.25%	2.44%	-	4.41%
差	▲0.01%	▲0.01%	0.01%	▲0.01%	-	▲0.27%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 960 銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第237回利付国債	1.500%	2012年3月20日	1.92%	0.53%
2	第240回利付国債	1.300%	2012年6月20日	1.92%	0.54%
3	第264回利付国債	1.500%	2014年9月20日	1.41%	0.59%
4	第63回利付国債	1.200%	2012年3月20日	1.26%	0.92%
5	第88回利付国債	0.500%	2015年3月20日	1.25%	1.14%
6	第293回利付国債	1.800%	2018年6月20日	1.22%	0.33%
7	第90回利付国債	0.300%	2015年6月20日	1.18%	0.40%
8	第87回利付国債	0.500%	2014年12月20日	1.14%	1.14%
9	第273回利付国債	1.500%	2015年9月20日	1.14%	0.63%
10	第64回利付国債	1.500%	2012年6月20日	1.10%	0.65%
合計				13.52%	6.88%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	75.59%	74.85%	0.74%
地方債	6.74%	7.17%	▲0.43%
政府保証債	4.75%	4.87%	▲0.12%
金融債	1.62%	1.62%	▲0.00%
事業債	10.24%	9.44%	0.80%
円建外債	0.33%	0.77%	▲0.44%
MBS債	0.80%	1.28%	▲0.48%
コール・その他	▲0.06%	0.00%	▲0.06%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券 (ABS) は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.76%	0.77%	▲0.01%
平均クーポン	1.53%	1.49%	0.04%
平均残存期間	7.77	7.62	0.15
修正デュレーション	6.81	6.76	0.05

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年10月~2010年12月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

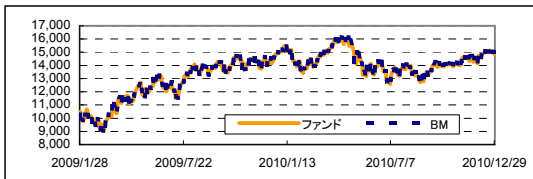
各マザーファンドの運用状況 [2010年12末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 142,218 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.31%	5.63%	14.83%	▲1.13%	-	48.31%
ベンチマーク	3.22%	5.58%	14.62%	▲1.18%	-	48.66%
差	0.08%	0.06%	0.21%	0.05%	-	▲0.35%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,323 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.65%	1.71%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.31%	1.36%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.96%	0.99%
4	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.91%	0.94%
5	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.86%	0.89%
6	IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.81%	0.84%
7	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.81%	0.84%
8	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.81%	0.83%
9	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.80%	0.83%
10	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.76%	0.79%
合計				9.67%	10.02%

・ ベンチマーク(BM)の比率は2010年9月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	11.58%	11.99%
2	素材	8.09%	8.38%
3	銀行	7.92%	8.20%
4	資本財	7.47%	7.75%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.92%	7.18%
6	食品・飲料・タバコ	6.02%	6.23%
7	各種金融	5.41%	5.61%
8	ソフトウェア・サービス	5.21%	5.40%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.29%	4.45%
10	保険	4.07%	4.20%
合計		66.97%	69.39%

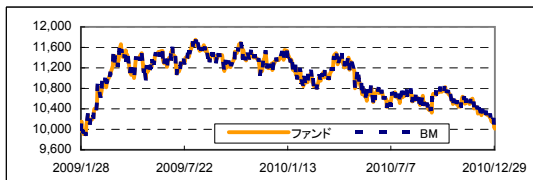
組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	52.70%	54.60%
2	イギリス	10.50%	10.87%
3	カナダ	5.69%	5.90%
4	フランス	4.68%	4.85%
5	オーストラリア	4.29%	4.46%
6	ドイツ	4.01%	4.16%
7	スイス	3.94%	4.08%
8	スペイン	1.59%	1.65%
9	スウェーデン	1.57%	1.63%
10	香港	1.40%	1.45%
合計		90.37%	93.63%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク(BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 230,892 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲3.78%	▲7.08%	▲4.09%	▲12.01%	-	0.11%
ベンチマーク	▲3.76%	▲7.00%	▲4.02%	▲11.95%	-	0.33%
差	▲0.02%	▲0.07%	▲0.07%	▲0.06%	-	▲0.22%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 402 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年11月15日	1.16%	0.25%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2012年5月15日	1.06%	0.27%
3	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	0.93%	0.57%
4	アメリカ国債	米ドル	4.875%	2012年6月30日	0.92%	0.09%
5	アメリカ国債	米ドル	11.250%	2015年2月15日	0.87%	0.08%
6	アメリカ国債	米ドル	2.375%	2014年8月31日	0.86%	0.33%
7	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年8月15日	0.86%	0.25%
8	アメリカ国債	米ドル	4.000%	2012年11月15日	0.83%	0.15%
9	ドイツ国債	ユーロ	4.000%	2012年4月13日	0.83%	0.19%
10	アメリカ国債	米ドル	4.750%	2017年8月15日	0.81%	0.17%
合計					9.12%	2.34%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
・ ベンチマーク(BM)の比率は2010年12月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	40.67%	40.98%
2	イタリヤ	9.86%	9.86%
3	ドイツ	9.64%	9.63%
4	フランス	9.42%	9.41%
5	イギリス	7.83%	7.85%
6	スペイン	4.01%	4.00%
7	カナダ	2.93%	2.92%
8	ベルギー	2.62%	2.61%
9	オランダ	2.51%	2.51%
10	オーストラリア	1.76%	1.76%
合計		91.25%	91.51%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	2.68%	2.66%	0.02%
平均クーポン	4.24%	3.67%	0.58%
平均残存期間	8.02	7.97	0.05
修正デュレーション	5.82	5.82	0.00

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
・ 上記の属性は2010年12月29日時点のものです。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動にともなう投資リスクがあります。
- 特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度(税抜:年率0.30%程度)* 特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

- ※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)有期D2型「いつでも夢を」は現在販売しておりません。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/